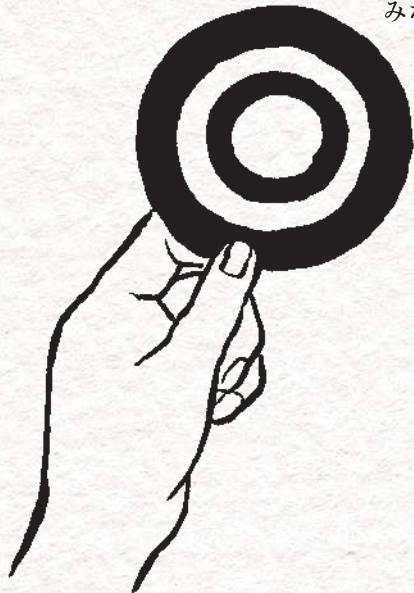


みなさまの お墨付き

公式コンセプトブック



おいしい、使いやすいの声、続々。
シンボルマークの二重丸は、
みなさまからのお墨付きの印。

“バカ”が付くほど、正直なモノづくり。

第三者機関による消費者テストで
80%以上の賛同を得られたものだけが“合格”

良いのに安いは大前提！
量にもこだわっています。

お茶目さと、暮らしに和みをくれるやわらかなパッケージ！
これからの日本の食卓と暮らしの定番がズラリ。

その数、なんと 1000 アイテム以上！
西友の PB(プライベートブランド)「みなさまのお墨付き」
果たしてその実態とは → → →



「みなさまのお墨付き」 イチオシ合格 Foods & Goods

人気の定番商品から、ワザありの商品まで
「みなさまのお墨付き」の魅力をご紹介します。
なるほど、ナットク！ 愛されるワケがわかる、
みなさまからの支持率やリアルな声にも注目！

支持率
90.0%

絶対的 定番 !!



みなさまの声①
優しいしょうゆ味のスープがおいしく麺ももっちり具材もたくさん。

みなさまの声②
具材が大きく麺の量も多くて満足感が高い。卵もフワフワ。

みなさまの声③
醤油の塩気も丁度よく麺がシコシコして美味しい。

しょうゆヌードル

119円(税抜)／1食

※2024年8月時点の売価・支持率です



従来品よりも、卵、ひき肉、ネギを増量。しょうゆ味のスープは香辛料を抑えながら、ポークをベースにチキンや香味野菜を加えコクをアップ。飽きのこないあっさりとした味わいに進化しました。

© 2020年3月リニューアル

カフェイン・モンスター 降临！

支持率

91.7%



エナジードリンク

139円(税抜) / 250ml

※2024年8月時点の売価・支持率です



100mlあたり、カフェイン 64mg、アルギニン 180mg 配合という、気合の入った振り切り方が、SNSでも話題のエナジードリンク。メラメラとしたパワーを感じるパッケージからも、疲れが吹き飛ぶ、元気が出ると話題沸騰中。

世界ナンバーワン！? 美味カレー

支持率

100.0%

みんなの声②

具材のお肉やジャガイモもゴロっと大きくて食べ応えがあって良い。

みんなの声③

トマトベースが爽やか。スパイスも本格的。

みんなの声①

香辛料とココナッツミルクのバランスがよくとても美味しい。



カシューなツツ香る マッサマンカレー

189円(税抜) / 180g

※2024年8月時点の売価・支持率です



本格レトルトカレーのなかでも群を抜いて人気のこちらは、かつてアメリカの世界的ニュースサイトで1位に選ばれたタイのカレー。8種類のスパイスにカシューなツツを加えた、甘みとコクがおいしさの秘密。

始末のことまで 考えました！

支持率

88.8%



みなさまの声①

中身がとりだしやすく
分厚く破れにくい。
汚れおちもよい。

みなさまの声②

香りがとてもよく
トイレ掃除で癒されます。

みなさまの声③

この値段でも
生地がしっかり
ミシン目が付いていて
拭きやすい。

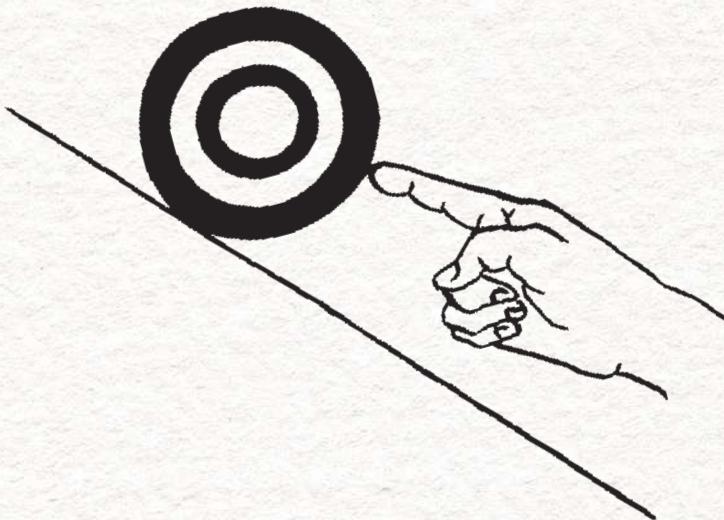
箱がない
おそうじシート(トイレ用)
198円(税抜)／10枚入×2個



破れにくい厚手のシートは1枚でも
しっかりおそうじができる、コストパ
フォーマンス高し！トイレに流せる
ので使い終わった後も始末がラクチ
ン。おそうじシートによく見られる
箱をなくすことで、収納もコンパク
ト。除菌効果もあり。

※2024年8月時点の売価・支持率です

商品化＝合格までのプロセス



商品が産声を上げるまでの道のりは、平坦ではありません。

「みなさまのお墨付き」というブランド名の所以であるように、

二重丸のマークがついた商品はすべて、

100人以上※(主に女性)による消費者テストで、

80%以上の賛同を得たもののみが商品化されます。

「みなさまのお墨付き」だったら、

安心。おいしい。使いやすい。と思っていただけるよう、

ひとつひとつの商品に真面目に向き合って作られている

プロセスをご覧ください。

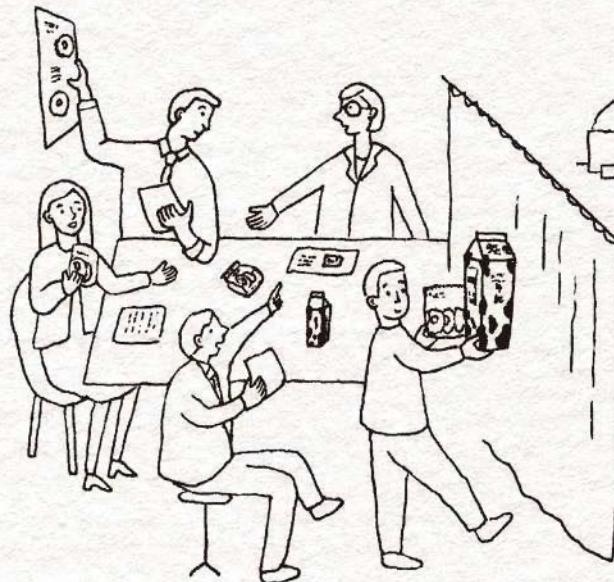
※該当商品を目頃から食べ慣れている／使用している方を、その都度、第三者機関が厳正に選んでいます。

そのため、一般応募による消費者テストは行っておりません。

「みなさまのお墨付き」が 生まれるまで

1 商品開発

消費者ニーズや世の中のトレンドに合わせて、食品や日用品の、あったらいいな、便利！という商品をあらゆる方向から考察し、ディスカッションを重ねて開発。



不合格

2

80%を下回ったものは
再度商品開発を経て、
具体的な声に応えるべ
く改良される。そして再
び、消費者テストへ。

定期的に再テスト

合格

3

3 商品化

晴れて商品化されたものも、定期的
に再テストを実施、現状に甘んじる
ことなく時代にマッチした商品
を提供するため進化を重ねていく。



2 消費者テスト

第三者機関が、該当商品を日頃から食べ慣れている／
使用している20代～60代までの消費者の方に、味／
使い勝手、容量、価格について4段階(非常に良い・良い・
良くない・全く良くない)の総合評価と、その評価の理由
を調査。企業名やブランド名は伏せて行われる。ここ
で80%以上のものだけが合格となり、商品化へ進む。

潜入 消費者テスト会場

企業名、ブランド名などを伏せて、
第三者機関による厳正なテストが行われているという会場へ。
さて、現場はどんなことになっているのでしょうか。



1

緊張感漂うテスト会場。みんな
の前には一人一台評価を打ち
込むタブレットが置かれ、ひとつ
ずつ試食品が配られていきます。



回答にはタブ
レットを使用。



2

まずは、黒ごま。お豆腐と一緒に
に配られます。黒ごまだけを味見
するのではなく、普段と同じよう
な食べ方で試食していただくこと
にもこだわっています。



3

ひとつずつ、しつかり試食できる
よう時間と量が考慮されている。



4

商品開発担当者が一切関わら
ない、厳正かつリアルな評価の
仕方に感動しました。ここまでして
80%以上の賛同を得られたもの
が、「みなさまのお墨付き」の商
品となるのですね。

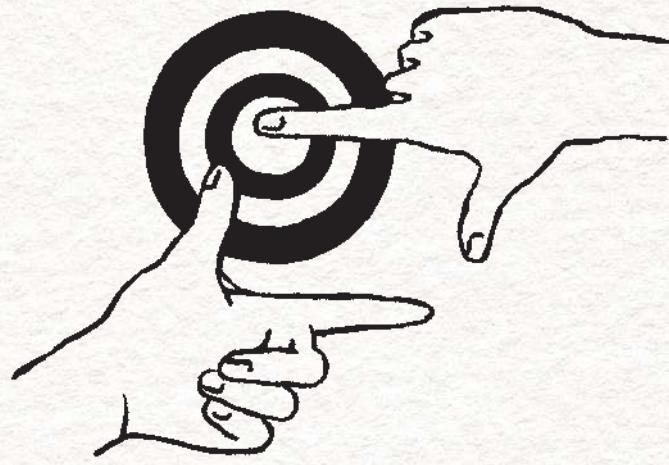


選択回答だけ
なく、評価の理由
もしっかり入力。



丁寧に試食の準
備をするスタッフ。



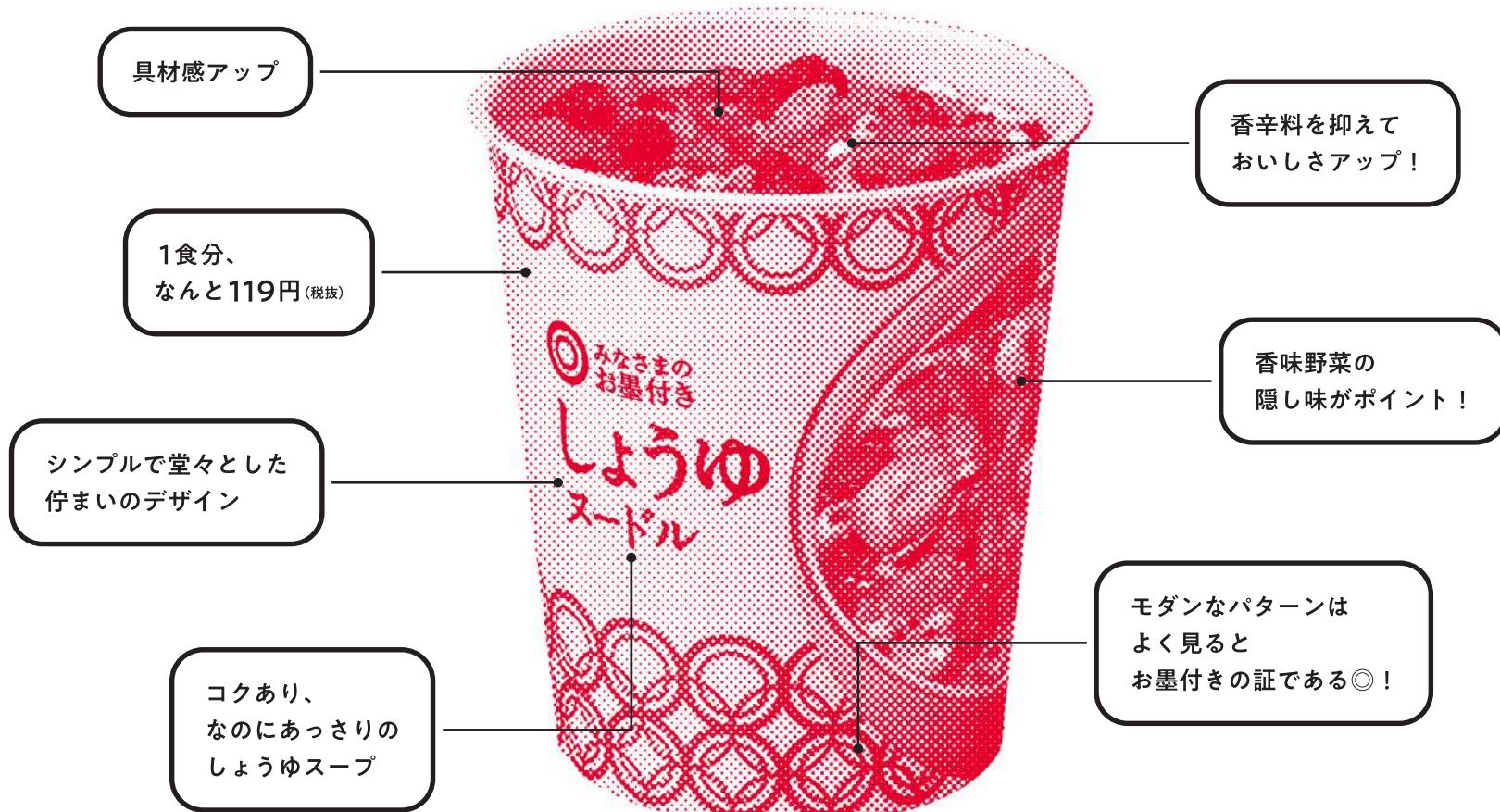


ここに力をいれています！

時代によって変化する消費者ニーズに対し、
柔軟に応える「みなさまのお墨付き」。

ここで取り上げるのは、「しょうゆヌードル」。
中身もデザインも常に進化し続いている
人気商品を例に徹底研究。

単に、「しょうゆヌードル」といっても、スープの味わい、具材の満足度、コスパ、パッケージデザインなど、トレンドやお客様の声に応え、改良を重ねる大定番。まさに「みなさまのお墨付き」の代表候補。



潜入 パッケージデザイン 開発の現場

みなさまに愛されるブランドとして、その親しみやすくユニークなデザインが生まれるまでの工程を取材しました。

デザイン開発依頼

Briefing



商品特徴(ターゲット、規格や価格、競合商品の情報)をどのようにデザインに反映するか、どうしたら多くの方に手にとってもらえるかなど、熱い議論を交わします。

デザイン開発

Design



Presentation

デザイン提案



定番商品には王道感が伝わるデザイン、個性的な商品には意外性に富んだぶっ飛びのデザインを、意図を詳細に伝えながら提案します。また、実際に売り場に並べて検証し、そこで気づいたことを取り入れてさらに理想的なデザインに近づけるため磨きをかけていきます。

撮影

Shooting



Photographer

フォトグラファー

商品の魅力や、おいしさのイメージ、臨場感を捉える写真的なスペシャリスト。

Food Coordinator

フードコーディネーター

湯気や泡を立てたり、ツヤをつけるなど、食品をよりおいしく見せる演出のスペシャリスト。

Food Stylist

フードスタイリスト

ふわわしい食器類や小物など、幅広くテーブルウェアをスタイルリングするスペシャリスト。

店頭へ

In Store

新商品のデザインが完成！
ようやくお店の棚に！

開発者が語る！

消費者の声に応え、常にトレンドを取り入れた商品企画。
「みなさまのお墨付き」開発者に熱い想いを語ってもらいました。

“定番品はもちろん、パンチの利いた商品や、ユニークな商品も前向きに作っていきたいと語る、攻めの開発者！頭の中は「これがあつたら喜ばれる！」「おいしい！と思つてもらえる」を常に考えている。”

須賀さおりさん
商品開発室
商品物流本部
食品II



エナジードリンクの量が、競合商品に比べ2倍だったりする振り切り方も「みなさまのお墨付き」らしいところ。この開発にあたっては、ジムトレーナーやヘビーユーザーの方々に話を聴きました。

「みなさまのお墨付き」はPBでありながら、定番の商品に加え、ブランドのどこかお茶目なキャラクターもあり、おいしいだけじゃなく、おもしろいものや流行のものにもチャレンジしています。例えば、ポテトチップスの餃子のタレ味やエビチリ味などもそれ。はじめは餃子味で開発していましたが、「実は重要なのはタレなんじゃないか！？」となり、作つてみたら、まさに餃子そのものの味わいだったのです。

流行に寄り添いつつも、自分が食べておいしいもの、おもしろいものを追求していきます。PBとしてはあまり見ないようなものも、あえて定番化していくなら、よりブランドのユニークさを感じていただけるかと思っています。